

日本健康心理学会メールマガジン No.18



2014年1月21日 第18号

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラムvol.14 上智大学総合人間科学部心理学科 樋口 匡貴 先生

1) 学会からのお知らせ

■2013年度会費未納の会員へのお願い（すでに納入済みの方はご放念ください）

本学会では法人化以降、7月始まりで次年度6月終了という変則的な会期を官公庁や他学会における一般的なスケジュールに合わせるべく、4月に始まり次年度の3月に終了と2014年度から変更になっています。

この影響で、会費納入時期の混乱が会員に生じており、本年1月11日現在で2013年度の会費納入率が66.4%にとどまっています。会員からの会費は、学会運営の中心財源になっておりますので、会費未納について連絡を受け取られた会員は納入をお急ぎください。

■住所不明会員の方へお知らせください

以下の方は、現在住所が不明のために学会からの郵便物が届かない状態です。お心当たりの方がいらっしゃいましたら、本部事務局まで連絡するようお願いいただくと幸いです。

住所不明会員リスト（順不同・敬称略）：岩崎朗子、野和田武夫、山本麻貴、横田久美子、倉科美弥、浅野憲一、岸文子、徳江千晶、牧優里、三上勇氣、遠藤径至、成瀬友貴美、高橋裕文、福本莉紗、蒲田摩耶、岡田翔平、蜂須賀拓実、桐谷優子、林順善、森田慶子、富岡美帆、李明、福本剛之、川上真梨、野村仁美、半田絵理奈、前田恵里、鈴木亜里紗、澤井彩乃、齊木くみ子、福田彩乃、佐藤瞬、林唯、川田原亜美、小島瑤香、鳴澤明子、尾川あゆみ、西端晃代、佐藤麻衣、羽二生昌子、渡邊夏子、深宮郁織、趙善英、河野露馨、小泉奈々、高杉綾夢、佐藤智世、八木義道、福地利江

連絡先：（社）日本健康心理学会 本部事務局
〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター
メールアドレス：jahp-post@bunken.co.jp 電話番号：03-5389-3025

■日本スポーツ心理学会より

第7回アジア南太平洋スポーツ心理学会（ASPASP）
テーマ：スポーツ・運動を通して人々の絆を強める
会期：2014年8月7日～10日
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
URL：http://www.aspasp2014.jp

■研修委員会より

（財）日本心理研修センター冬期研修会
日程：2月22日、23日
会場：大阪人間科学大学
備考：23日の「(4)依存」は健康心理学会研修委員会の企画です。

本研修は健康心理士の研修ポイント対象です。
URL：http://shinri-kenshu.jp/#WinterSeminar

■学会HP更新情報（1/15時点）

○研修委員会 研修会の開催
第89回：2014年3月15日（土）「健康教育に活かす交流分析」
第90回：2014年3月29日（土）「職場のストレスとメンタルヘルス～個人と組織に対するアプローチ～」
会場：いずれも桜美林大学四谷キャンパス
詳しくは：http://jahp.wdc-jp.com/kensyu/kensyu2.html

○国際委員会 第28回ヨーロッパ健康心理学会大会
日程・場所：2014年8月26日～30日、インスブルック（オーストリア）
抄録締切：2014年2月14日（早期登録：2014年5月25日）
詳しくは：http://www.ehps2014.com/

2) 健康心理学コラムvol.14

「人前でコンドームについておしゃべりができますか？」
（上智大学総合人間科学部心理学科 樋口 匡貴 先生）

「人前でコンドームについておしゃべりができますか？」
恐らく多くの人が「いや、それはちょっと…」とか「恥ずかしいです」と答えるのではないのでしょうか。もちろん私もそうでした。しかしコンドームは、私たちの健康にとって非常に重要な道具です。コンドームの適切な使用には、「快感を損なう」「恥ずかしい」などの阻害要因が指摘されています。

私はこの中でも「コンドームは恥ずかしい」という現象に注目し、なぜ恥ずかしいのか、そしてどうすれば恥ずかしさを抑え込めるのかについて研究してきました。しかし最近、本当に恥ずかしさを抑え込むことだけを考えれば良いのか疑問を持ち始めました。

恥ずかしいという感情に関する近年の研究で、恥ずかしがっている人は向社会的で信頼できるなどポジティブな評価を獲得していることが示されてきています。つまりコンドームを使うときに恥ずかしがることには何らかのメリットが存在すると示唆されるのです。このメリットを踏まえ、本当の意味で「コンドームを使うのが恥ずかしい」という現象を理解することなどできないのではないかと、そう考え始めました。この恥ずかしいという感情は、コンドームについてだけではなく性に関連する様々な健康行動とも密接に関連しています。

一方では人間を病気に至らしめ、一方では信頼を獲得する。恥ずかしいという感情のこの正負両側面を同時に検討していくことは、私にとって非常に魅力的であると同時に、人間の健康にとって極めて重要な研究領域です。これから先も、このテーマに真剣に取り組む続けようと思います。

日本健康心理学会広報委員会
http://jahp-public.blogspot.jp/

メールマガジンの配信停止、アドレス変更については下記アドレスまで。
日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想については下記アドレスまで。
広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます
http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html